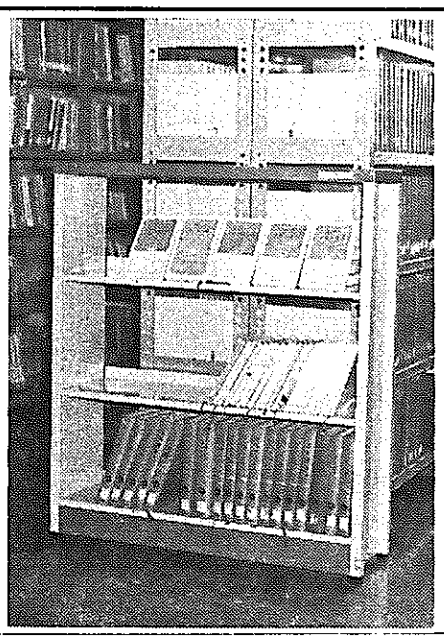
図書館に明るい話題

新刊書や図書購入費
書だなや柱時計の寄付も

このところ市立図書館に、匿名の市民から図書や書籍代、その他備品の寄贈がつづいています。



【写真は寄贈された図書と書だな】

市立図書館には現在九千三百冊の図書があり、昨年一年間で延べ約一万三千人の利用がありました。利用件数では県内図書館でも上位クラスに属するのに、利用件数のわりには蔵書量が少ないというのが現状です。

それでも図書館の職員は、〝市民から親しまれるために〟とPRに一生けん命。そのためか、いままでは利用者のほとんどが中、高校生だったのが、最近では子どもづれのおかあさんが増えてきたそうです。

このような実状を知ったKさんは、まず四月に「図書館に時計がなくては」と音のしない柱時計を寄贈。同月Mさんから「岩波新書を全巻寄贈したい。一度に全部というわけにゆかないので毎月十五冊くらいずつ贈ります」と話がありました。

同新書は、いままでに三百冊以上出版され、これからも続刊されますが、贈られた同書はすでに四十冊になりました。この話を聞いた市内の中長書店は、同新書を納めるためスチール製三段書だなを寄付しました。さらに、ある市会議員から「これから四年間議員歳費の中から毎月五千円ずつ送るので、適当な図書を買って欲しい」との話もあり、同館では「こうした市民の善意に報いるため、愛される明るい図書館づくりに努力したい」と話していました。

鉛筆と

農政課には、農政、農産構造改善の三つの係があり各係ではおもにつぎのような仕事をしています。

農政係

この係では、農業の近代化は農民の手からをスローガンに、①ラジオ農業学校②中堅農村青年養成講座③農村青年国内留学生の派遣④興農館高校への奨学制度などの農業教育を重点的に行なっています。とくに②は全国的な立ち場から大学教授や試験場関係の講師を選び、③は、毎年三人から五人くらいを一か月から三か月くらい先進地視察させています。

農産係

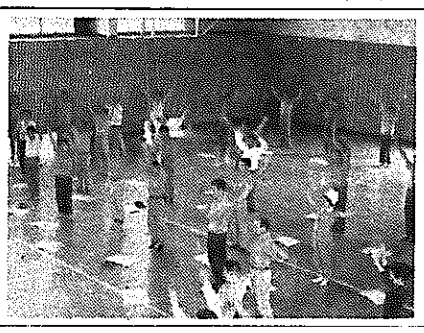
いまいちばん力を入れて取り組んでいるのは「米一俵増産運動」です。そのほかに集団稲作の奨励、病害虫の予防、野菜の共同育苗や共同出荷の推進、養豚の集団消毒や予防注射、良い仔畜や種豚の確保などを行なっています。

構造改善係

ここでは、農業の近代化をはかり、農業所得を他産業なみの労働報酬に引き上げるため、①農業近代化資金②農業改良資金③農林漁業金融公庫などの融資制度のほか、市単独で④農業振興資金の制度があります。しかし、融資の間口がせまい上に、金利が一般水準なみのため、市では利子補給を行なっています。

とくに、四十二年度は農業後継者育成のため「農業後継者育成資金制度」を設け三百万円を予定しています。そのほか振興資金、近代化資金、天災資金などの利子補給のため百七十五万九千円を見込んでいます。

職場体操
〝気晴らしに良い〟
～理研電線で実施～



職場体操の指導を受ける参加者

六月十三日、理研電線白根工場の体育館で「職場体操指導者講習会」が開かれました。これは〝各事業所で全社員が気分転換のため職場体操をやり、より仕事の能率を上げよう〟と行なったものです。

この日参加した約七十人は県保健体育課の高橋三郎先生から指導を受けていました。

理研工場では、講習のあった翌日からさっそくはじめました。その体操は十時に「だれでもできる体操」を二回、三時に「つかれをなくする体操」二回です。二回ずつ行なうのは、仕事のつごうでどうしても手のはなせない人がいるためです。その方法は、まずテーマソングを鳴らし、その場で仕事の手を休めて全員いっせいに行なっており、体操を終えたある社員は「気分転換になっていいですよ」と話していました。

凧合戦協会
会長に星野さん

六月十二日、産業厚生会館で「凧合戦の戦後復活二十周年記念式典」と「凧合戦協会の総会」が開かれました。

まず、戦後の物資のなかったころから凧合戦をここまで盛り上げるのに功労のあった上杉貞夫さん(能登)鷲尾誠志さん(五軒茶屋)の表彰と審判員、評議員として長い間活躍されたつぎの七人のかたに感謝状の贈呈がありました。

このあと総会にうつり、三十年間凧協会の責任者として活躍された清水弥市さん(五六ノ町)にかわり、新会長に星野昌一さん(能登)が就任されました。

なお、感謝状を贈られた七人のかたはつぎのとおりです。

木村平一郎(一ノ町)種村一夫(西白根一)保倉嘉三郎(桜町)星野昌一(能登)桜沢竜太郎(西白根一)伊藤源太郎(西白根六)時田寅一(訪ノ木)

県大会に
内山修君
堤恵理子さんが

堤　恵理子さん

内山　修君

六月十六日、白根小学校で「第九回健康優良児童の審査会」が開かれ、男子は内山修君(鷲巻小)が、女子は堤恵理子さん(白根小)がそれぞれ一位になり、九月に開かれる県大会に出場することになりました。

この日は、市内の小学校から男女ひとりずつの計二十四人が参加し、おたがいの健康ぶりを競い合いました。審査会が終わって、ことしの特徴などを審査員に聞いたところ「体位は年々向上しているが、耳、鼻、歯などの欠点が目立った」と話してくれました。これは各学校に専門医のいないことが原因していると思われます。

この日の審査会で入賞した児童はつぎのとおりです。男子①内山修(鷲巻小)②浅見寛(白根小)③夏川隆盛(戸頭小)

女子①堤恵理子(白根小)②阿部アサ枝(大郷小)③小原陽子(新飯田小)

母は家のガイドさん
—母の日大会で作文朗読—

6月11日(日)、産業厚生会館で「第12回母の日大会」が開かれ、10人のおかあさんがたが表彰されました。

この日は小中学校の児童生徒の「おかあさんありがとう」と「母を讃える歌」の合唱や花束贈呈、阿部健司君(白根小)と笠巻三津枝さん(根岸中)の作文朗読などがありました。阿部君は「母は家の中のことを何でも知っている。家の中のガイドさんだ」と幼ない声を張り上げて朗読していました。表彰されたおかあさんがたはつぎのとおりです。

写真右から大野ヒサエさん(新飯田)関根テフさん(茨曽根)児玉ヨキさん(小林)山口トシさん(白根)小熊ハナさん(根岸)半間ヨウさん(鷲巻)田辺ムツさん(大郷)丸山ハナさん(臼井)吉沢コイさん(庄瀬)右上吉沢シモさん(白根)

巡回文庫の配本所

各地区の配本所はつぎのとおりです。本を借りたり、返したりする場合はご利用ください。

▽新飯田—枝村文宅▽茨曽根—上杉正則▽庄瀬—庄瀬農協、真木分館▽臼井—戸石小学校▽大郷—大郷農協、高野ミツ宅▽鷲巻—藤原ハルキ宅

検珠算定
二級に五人合格

六月四日(日)、白根中学校で「第十六回商工会珠算検定試験」が行なわれました。

この日の受験者は、一級十一人、二級六十九人、三級百六十六人、四級四十一人、五級三十三人、六級二十二人、七級五人の計三百四十七人で、このうち合格したのはつぎの八十三人でした。

一級—なし、二級—小林英子(白根)八木尚美(同)吉川あき子(同)小林優子(潟東)金子秀子(庄瀬)、三級—四十七人、四級—十四人、五級—十人、六級—六人、七級ひとり。

近郷駅伝
一位に白根Dチーム

六月二十五日(日)、市陸上競技協会の主催で白根—新飯田間を走る「第一回白根近郷駅伝大会」が開かれました。このコースは、中の口川堤防を、白根水道取水口から新飯田中学校前までを往復するもので、この日は、市内はもちろん、燕市、新潟市など近郷の市町村から十七チームが参加しました。

この日の団体の入賞チームと区間ごとの一位はつぎのとおりです。

団体①白根Dチーム②白根Aチーム③燕Aチーム

区間①加藤光男(白根市)阿久津健一(五泉市)星毅(燕市)須田守男(白根市)

電話の話あれこれ

「ダイヤル式でないので不便だ、電話の増設を申し込んでもなかなかつかない」など、みなさんから電話についての〝声〟がいろいろ寄せられます。そこで、広報しろねの編集部が電報電話局をおとずれ、局長からいろいろ聞いてみました。

「四月から拡張工事を実施」

問い　全国即時網計画はその後どうなっていますか。

局長　着々進み、現在八十まで完成しているので、あと一息というところです。

問い　六月二十五日に完成した新潟新市外電話局は、白根にも関係があるのですか。

局長　ええあります。その完成と同時に全国の県庁所在地はもちろん、いままで自動局だったところがほとんどダイヤルでつながることになりました。なおダイヤルでつながる範囲は、加入者のみなさんにおくばりしたとおりです

問い　線路設備などの不足のため電話を申し込んでもなかなかつかないようですが。

局長　そのためみなさんにいろいろご不便をおかけしていますが、これを解消するため四月から拡張工事をはじめました。みなさんの迷惑にならないよう工事を進め、七月いっぱいで完成する予定です。しかし、切り替えやテストなどのため、ご迷惑をおかけすることもあると思いますのでよろしくお願いします。

問い　コンクリートの家は完成したけれども、いざ電話を引くときにこわしたということを聞きましたが。

局長　そうですね。せっかくきれいに完成したのに、電話の引き込みロをつくらなかったとなるとこわすよりほかありませんね。工事終了後こわすのは不経済で体裁が悪いばかりでなく、工事もむずかしくなります。局ではいつでも相談に応じますので、工事の前にぜひご相談ください。

問い　電話の移転はすぐできるのですか。

局長　ええ、電話の設置場所さえ早く連絡してもらえば希望の日に工事はできます。しかし、電話線や局内設備などが充分でない場合は、しばらく待ってもらっています。

問い　八月に新しい電話番号簿が発行されるようですが

局長　そのとおりです。こんど発行されるのは、人名別(白色のページ)と職業別(黄色のページ)の範囲が同じになるので、職業別の範囲はいままでよりせまくなります。これ以外の番号簿が欲しいかたは局の窓口へ早めに申し込んでください。

問い　電話の加入申し込みや移転などの問い合わせ先番号が変わるようですが。

局長　八月一日からそれぞれつぎのように変わりますのでおまちがいのないようにしてください。①電話の加入申し込みや移転の問い合わせは七二—三二〇〇へ②交換手が出ないなどの交換取り扱いについての苦情は〇二五二—二八—二五〇〇へ③電報の問い合わせは、平日は午前八時三十分から午後五時まで、土曜日は午前八時三十分から十二時三十分まで七二—二六〇〇へ、ただし、それ以外の日や時間は〇二五二—二八—二六〇〇をご利用ください。

「申し込んでもつかない」